



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 FAX 045-571-3834

年頭のご挨拶

横浜スペイン協会 会長 下山利明

2017年の新しい年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り致します。

昨年5月の定時総会より、3代目会長の重責を引受けさせて頂いてから早いもので約7ヶ月経過しました。また、同時に役員改選もあり、従前の10名から6名の新体制となりました。少数精鋭の各役員は事業計画に沿って確実に協会の活動を推進しております。会長に就任してからは、今期の1つの大きな活動方針である対外交流活動の拡大方針のもと、スペイン大使館との交流、また、同じ志を持つ他県のスペイン友好団体との情報交換など新たな活動に多くの時間を割くようになりました。出来る限りこのような活動を会報やホームページを通して情報発信をして行きたいと考えております。ここ数年は国際的な活動も再開し、一昨年9月に実施したレオン州での桜植樹のその後の経過報告が定期的にされ、現地で桜の花が咲いたという嬉しいニュースもありました。また、現地でお世話になったボデガのオーナー夫妻来日の際には懇親の場を設けたり、会員の中にはマドリッドに居住されている方もいらっしゃるの、現地の情報、文化、歴史について会報で共有させて頂いたり、当協会の活動もグローバル展開が進んでいます。その他、スペイン・サロンの内容も充実し文化講座、料理教室も好評を期し、「旅でスペインを識る会」「CLUB 2020」等のサークル活動の動きも活性化していることは本当に喜ばしい事です。当協会はスペインが大好きな仲間の集まりです。本年も皆様と共に楽しい有意義な時間を共有して参りましょう。会員の皆様方の各イベントへの積極的な参加とご協力をお願い申し上げます。

2017年 横浜スペイン協会 活動計画

	総務・企画	スペイン語教室	スペイン・サロン	スペインサークル	会報
1月				*旅でスペインを識ろう会	新年号
2月	新年親睦パーティー (2/4)			毎月第2月曜日	
3月		クラス委員会	スペイン歴史散歩	(8月はお休み)	
4月	大使館観桜会 (予定)	前期講座 開始	シェリー講座		春号
5月	定時総会 (5/14)			*スペイン語でボランティア	
6月			スペイン文学講座	(CLUB 2020)	
7月		クラス委員会		毎月第1火曜日	夏号
8月		夏期特別講義			
9月			プロによる旅講座	* "ORIGAMI"	
10月	NationalDay 式典	後期講座 開始		毎月第3水曜日	秋号
11月			スペイン料理		
12月					

スペイン大使館ナショナルデーレセプション ご報告

10月13日(木)、スペイン大使館主催のナショナルデーレセプションにお招き頂き、横浜スペイン協会の代表として家内と出席しました。ナショナルデーとは、1492年10月12日にコロンブスによるアメリカ大陸の発見をお祝いする日で、スペインではイスパニアデーと呼ばれ、スペイン全土で盛大なイベントやパレードが行われる国民の祝日です。まずは公邸エントランスにてベニート大使ご夫妻に迎えられご挨拶。そして、エントランスホールを抜けてレセプション会場であるガーデンへ。招待者は数百人レベルで、スペイン大使館関係者、各国大使館、国会議員、大学、実業界、スペイン友好協会関係者、文化交流に貢献されている方々が参加されていました。冒頭、ベニート大使のご挨拶では、約400年前の慶長使節団から始まり現在に至るまでのスペインと日本の



強い友好関係の歴史に触れられました。少し驚かされたのは、2015年には日本からスペインの渡航者が何と60万人、スペインから日本へは7万人とまだまだですが、あらためて、日本人のスペイン好きを認識しました。その後、日本代表として石原伸晃経済再生大臣のご挨拶。奇遇ですが、石原大臣とは高校の同級生で久しぶりにお会いしご挨拶することが出来ました。一通りご挨拶が終わると歓談。料理は立食、ブッフェ式で直径1メートルの鍋で作られた100人分の巨大パエジャやハモンセラ



ーノ、各種ピンチョス、チューロ等本場のスペイン料理を堪能しながら、大使館関係者、既知の山形スペイン交流協会のメンバー、松田清宏在高松スペイン国名誉領事にもお会いし交流を深める事が出来ました。帰りがけに目にした、当協会が2005年に寄贈させて頂いた緋桜が大使公邸の白壁をバックに、秋の夜空にとっても綺麗にライトアップされているのがとても印象的でした。(会長 下山利明)



●対外交流活動

山形の芋煮会に行ってきました！

2016.10.23 山形市 馬見ヶ崎川、河川敷広場

今年度より横浜スペイン協会の方針として国内各地のスペイン協会との交流を積極的に行うこととしています。第一弾として山形スペイン友好協会が毎年行っている芋煮会に参加して山形と横浜の相互の交流を深めていくこととしました。会場到着後山形スペイン協会の石山会長、今田事務長と相互の活動の紹介を行い、交流を深めていくこととしました。芋煮会の現場では、すでに薪で火をおこしスペイン協会らしく芋煮とパエリアを同時につくっていく斬新なものです。当日の天気は曇り、気温は13℃の寒く感じる天気でした。そんな中で石山会長のあいさつで芋煮会が始まりました。薪火の暖かさと、おいしい料理やお酒(シェリーも有り)を頂く中で参加した皆さんと幅広く、語り合い楽しい時間を過ごしました。参加者の中には、仙台からの参加者もいらっしゃいました。(東北でスペイン協会があるのは山形のみ) スペインが好き、スペインを知りたい、こんな想いを共有できる場を持てたこと、同時に山形を見る、山形を知る、山形を味あう良い機会となりました。後日、土産に買ったラフランス食べました。絶品でした！(武菱邦夫)



石山会長と下山会長

●スペイン語クラス

今回は、新受講者も加わり活気溢れるセレソクラス（入門・初級クラス講座日：第1,2,3木曜日 10:15～11:45 講師：山田るり子先生）をご紹介します。

¡Hola todos! 私たちの「セレソクラス」をご紹介します！セレソクラスは毎週木曜日の午前中に山田るり子先生にご指導いただいている入門・初級クラスです。2014年10月の開講当時は少なかった受講者も今では男性6名、女性6名、計12名となり、和気あいあいとした雰囲気の中でスペイン語を勉強しています。山田先生は優しく、気さくなお人柄で、スペインに関する経験と知識が大変豊富なのでいつもお話に引き込まれます。授業は丁寧で分かりやすく、また難しいところは時間をかけてじっくり教えて下さるので、スペイン語初心者の私たちも安心して授業を受けています。現在初級者用テキストの最後の部分（点過去）を学習していますが、年明けから山田先生のオリジナルテキストと音声教材を使ったアウトプットの練習が始まります。まだ桜のつぼみの私たちですが、まずは簡単な会話表現が口をついて出てくるようになることを目標にみんなで楽しみながら学んでいきたいと思えます。（福田薫）

開講から1年は受講生の入れ替わりが激しく授業進行が大変でしたが、本年度に入ってから受講生も増えて出席率も改善し、落ち着いて学習できる環境が整ってきました。スペイン語教室では珍しく男性が半数を占めるクラスで、ちょっと横道にそれてスペインの歴史や政治の話になると、どんどん話題が広がり、こうなると軌道修正が大変！ 食の話が盛り上がるのは言うまでもありません。このところようやく直説法現在の学習が終わり、さらに先へ！と行きたいところですが、その先は息つく暇もないほどどんどん新しい時制が出てきますので、ここで一度立ち止まり、オリジナル編集の会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」を二巡し、スペイン語の基礎を固めと爆発的な語彙力&表現力アップを狙います。ほかのクラスを含めこのテキストを使い始めて6年になりますが、スペイン語の感覚を身につけるにはもってこいの教材です。頭を整理しながら基礎スペイン語全般の復習をされたい方、お待ちしております。（山田るり子）



●サークル「CLUB2020」 ～ 活動と今後の課題

2020年開催の東京オリンピックには多くの外国人が観光を兼ねて日本にやってくると思います。そんな時、当協会の有志の間で「街角で困っているスペイン語圏の観光客に出会ったら積極的に声を掛けて少しでもお役に立てれば」という主旨で「街角通訳」の養成講座を作ろうということになりました。そこで出来たのがサークル「CLUB2020」です。街角通訳養成講座は山田るり子講師の指導のもと2014年11月から始まり、月1回のペースで開かれ今日まで約2年間続いています。講座の参加者は25名で、スペイン語で書かれた日本の文化や習慣、東京や横浜の観光ガイド、スペイン人の日本滞在記等を参考にしながら学習し、更には中華街をスタートとして観光名所を数班に分かれガイドの実施授業を行うなど活動の幅も広げて参りました。先日、受講者の今後の希望・活動についての意見を聞く機会がありました。そこで、オリンピックにボランティアまたは何らか



の形で参加するために、テーマ別の分科会を開き更に実力を付け「4年後のオリンピックの開催に当たってはスペイン語圏の旅行者に日本を少しでも多く知ってもらおう」という希望がメンバーの中で育って来ているのを強く感じました。山田講師はじめサークル纏め役（福長・石井）は2020年までの残り4年間で受講者の希望に添えるような講座内容を準備する事の大切さをあらためて感じた次第です。（石井加奈弘）

参加者募集中！

スペイン語クラス、サークル“CLUB 2020”にご興味のある方は下記にお問い合わせ下さい。

aiyes.supeingo.kurasu@gmail.com

●スペイン・サロン



問屋正勝さんの講演を聞いて 2016.10.29 於：県民センター

紺碧の空の下、炎熱の「サンティアゴ巡礼路」を黙々と歩き続ける、問屋さんの姿が目浮かぶようでした。これまで10年間で約1万キロを歩いた巡礼の旅、今回の仏 Le Puy からの1522キロの旅の説明は、ご自身が撮影された映像がふんだんに使われ臨場感がありました。途中で熱中症にかかり体調を崩されたようですが、心の底から湧き出る信仰心が駆り立てる「巡礼の旅」は、歴史的に命がけの旅だったのです。一度巡礼の旅に行くと5キロ体重が減るとのことですが、問屋さんの引き締まった体躯は、アスリートのようでした。興味深かったのは、「四国のお遍路」や、「熊野古道」との比較で、どの国にも宗教は異なれど、巡礼に対する憧れがあると思いました。今後の10年間の目標は、巡礼の旅を2万キロに伸ばすこととスペイン語の医療通訳を通算2000回に増やすことと話されていましたが、そのスケールの大きな生き方から刺激と勇気をいただきました。貴重なお話しありがとうございました。（大戸正彦）



スペイン料理を作って食べる会



11月19日、京急仲木戸駅から徒歩6分のところにある神奈川地区センターで今年もスペイン家庭料理研究家の丸山久美先生を講師としてお迎えして「スペイン料理を作って食べる会」が開かれました。この会は毎回盛況で今年も参加者は定員（24名）を越えました。丸山先生をお迎えするのは今回で6回目、すっかりお馴染みとなりましたが先生の明るい語り口調でいつもながら楽しい会となりました。今回のメニューはスペイン風オムレツ、肉団子、マッシュルームの詰め物、鱈とオレンジのサラダ、さばサンド、サングリアのゼリーの6品でした。短時間で6品を料理するのは結構大変でしたが、全員が協力して予定通りの時間で完成させることができました。スペイン風オムレツはスペインで一番ポピュラーな家庭料理の一つですが、それだけに奥



が深いようです。料理ができると各班の料理をすべてテーブルに並べて試食会が始まりました。ワインを片手に各班の味を比べながら楽しい時を過ごしました。(問屋正勝)



●旅でスペインを識ろう会

『マヨルカ島あれこれ+ちょっぴりイビサ島』

2016. 10. 17

10月の旅の会は 大竹智栄子さんが、パルマ・デ・マヨルカでの年越しの体験を中心に、バレアレス諸島観光の思い出を語っていただきました。大竹さんのご旅行はほぼ5年前、2011年の新年をパルマ・デ・マヨルカでお迎えになったそうです。ツアー参加時から旅行会社に 伝統の年越し行事を体験したいと申し出て、市庁舎にほど近いホテルにツアーを離れて一泊。ご友人が当地在住のスペイン人のお友達を紹介して下さい、広場近くの瀟洒なホテルでワクワク待っていたら、案内の彼女が



ご両親&彼氏と一緒に迎えに来てくれて、市庁舎前の広場に繰り出した由。広場を埋め尽くす人の波の中で 零時の鐘と共に食べた12粒のブドウ！ その瞬間は誰かれ構わずハグし合っただけで大騒ぎ… キスは手当たり次第ではなかったようです。明け方まで 飲んだり食べたり とっても楽しい時間を過ごして 忘れられない年越しの夜に。(影山 みゆき)

『シェリーの街ヘレス・デ・ラ・フロンテーラとお魚の街カディス～飲んで食べての旅』

2016.11.14

シェリーの故郷であるヘレスと大西洋に面した街カディスを訪れた下山綾子さんと大戸尚美さんのお話を伺って来ました。ヘレスはシェリーの本場、この周辺だけで造られているものだけをシェリー酒と呼べるスペイン固有の白ワインと教えていただきました。大戸さんは原産地呼称統制委員会が認定するシェリーソムリエの資格を、ヘレスの地にて3日間みっちり勉強し見事に習得されました。



スゴいですね！下山さんはヘレスを散策、カテドラル、王立馬術学校、そしてもちろんシェリー醸造所にて試飲をしながら治安の良い街を徒歩にてアクティブに動き楽しまれたご様子でした。カディスは大航海時代コロンブスが2回目4回目をこの地から出発した大西洋に面した街で、カテドラルや市場に行かれた様子のお話を伺いました。市場では様々な魚が並べられて、その中からマグロ中トロ刺身をゲットされ、夕食にシェリーと共に堪能された羨ましいお話。お二人のスペイン南部の満喫旅をシェリー片手にもっと伺ってみたいくなるような会でした。ありがとうございました。(大谷博子)



●シネマサロン

「ジュリエッタ」(Julietta)

監督・Pedro Almodóvar 2016年 スペイン

主演：Ema Suárez (母) Adriana Ugarte (娘)



母娘の確執の奥で愛と死と罪が織りなす物語。

Madrid, Galicia, Huesca など色彩豊かな土地を背景に鮮やかな衣装をまとった主人公たちが語りかけてくる。マドリッドで暮らすジュリエッタは町で出会った娘の友人から 12 年前に姿を消した娘をイタリア・コモ湖で見かけたと聞く。心に封印していた過去を思い出しながら娘への手紙を書き始める。ギリシャ古典の臨時教師だったジュリエッタは、列車で相席になった男の自殺をきっかけに罪の意識を負う。その不安から別席にいた漁師と知り合う。教師の任期が終り海辺の彼を訪ねると、その妻は病死した直後だった。その漁師との間に娘が生まれ思春期の少女に成長する。昔の研究を再開したいというジュリエッタに反対する夫は、漁に出たが嵐に巻き込まれ遭難死する。またも罪の意識にとらわれる。その後マドリッドへ転居、娘はキャンプに行くと言って姿を消す。娘は父親の遭難死は母親のせいだと思っていたと以前の知人から聞かされ、動転し交通事故に遭う。入院中に昔の住所に娘から手紙が来ていたことを知る。そこには 3 人の息子に恵まれたが 9 歳の長男を亡くしてしまい、初めて子を失った母親の気持ちがわかった一と綴られていた。心が通じた瞬間に安堵感が押し寄せる。(松本益代)

●マドリッド便り

～ スペイン歴史探訪

<～1492 年について>

カトリック両王は、大西洋を横断しアジアに到達するルートを見つけるため、コロンブスを船団の指令官に任命し冒険的航海に踏切りました。結果としてアメリカ大陸が発見され、後 1494 年にスペインのトルデシージャという町で、ポルトガルとの間で新世界を分け合う二国間条約が交わされました。この条約でポルトガルは、アフリカ経由のアジア航海ルートとアメリカ大陸のブラジルが領土と認められ、それ以外はスペインの領土となる事で調印され、世界史でこの種の条約が交わされたのはこれが初めての事でした。他のヨーロッパ諸国は、当時スペイン・ポルトガルが世界の領土を分け合い国際条約に署名しローマ法王の認可をとったことに対して、反発することはできませんでした。スペインはその後アメリカ大陸の植民地化を進めながら、太平洋を発見しこれをスペイン湖と呼びさらに太平洋の島々を発見、フィリピンを新生スペイン(メキシコ)の出先としてアジア太平洋領土の総司令本部とし日本や中国との国交を始めました。1492 年は前述した通り 712 年より継続してきたイスラムを、イベリア半島から追放した国土回復戦争が完了した年でもあります。この歴史的出来事は、世界史上初の偉業でありました。イスラムが一度入った地域はすべてイスラム教国になっており、これを追放することができたのはイベリア半島が初めてで、例外的なことでした。当時回教オスマントルコが東ローマ帝国の首都コンスタンチノープルを占領し、ヨーロッパ諸国はオスマントルコの襲撃を受け極めて緊張した事態に直面していただけに、イベリア半島でスペインキリスト教軍が回教王国グラナダを倒したことは、ヨーロッパ中で一大ニュースとなり歓迎され賞賛されました。更に 1492 年はラテン語からできた言語の中で、初めてカステリア語が文法書を出版した年でもあります。ラテン語を基にできた言語はスペイン語(カステリア語)以外にフランス語、イタリア語、ポルトガル語とルーマニア語がありますが、このカステリア語がスペイン帝国の言語として新世界に流通し、現在 20 か国以上の国々の母国語となり、5 億人以上の人た



1492年グラナダの開城と新大陸発見

ちの国際言語スペイン語は英語以前の国際公用語として認められることになりま
す。また1492年は、ユダヤ人の追放やカ
トリック教がスペインの唯一の宗教とな
り、これが将来のスペイン帝国の基本的
政策の骨組みとなりました。(鈴木裕)

***** 協会からのお知らせ *****

毎年恒例の「新年親睦パーティー」の開催日時と場所のお知らせです。今年もラテン音楽、フラメンコ、スペイン語クラスによる琴の演奏、さくら合唱団、さらにお楽しみゲーム等、皆様が楽しんでいただける趣向をたくさん用意いたしました。ぜひ会員の皆様の出席をお待ちしております。参加ご希望の方は詳しくは今号同封のチラシをご覧ください。

*日時 2月4日(土) 12:30~ *会場 KKR ポートヒル横浜(港の見える丘公園隣)
お申込み&お問い合わせ: Tel: 090-6655-3946 (武菱) taketake-27@song.ocn.ne.jp

※重要なお知らせ

《 会費振込のお願い 》

平成29年度会費を下記要領にて、お振込みのほどよろしくお願いいたします。

記

1. 年会費 会員 3,000円 賛助会員 10,000円
2. 振込先 みずほ銀行 鶴見支店(店番号362)
普通預金 口座番号 2518340
口座名義 横浜スペイン協会
3. 振込期限 平成29年3月31日

《注意事項》

- 振込先が変更となっております。
- 振込依頼票は同封しておりません。(従来の依頼票は使用不可)
- 誠に恐縮ですが、振込手数料は会員様にてご負担お願い致します。
- なお新年親睦会会費と合算しての振込もお受けしておりますが、その場合は振込期限が1月23日(月)となります。(親睦会申し込みの際に合算の旨をお伝えください)

【訃報】

横浜スペイン協会の設立、スペイン語クラスの開講等当協会の発展に貢献された中村瑛子さんが、10月10日旅行先のイタリア・ジェノバで突然の病で逝去されたことをお報せするとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。長年に亘りスペイン協会の運営にご尽力頂き、また昨年の協会創立25周年を記念して公演されたサルスエラ「ロンダに咲いた桜」の原文となった手記を書かれたのも中村さんでした。

知性と思いやりに溢れた瑛子さんを「偲ぶ会」を3月25日(土)13:30~15:30 波止場会館にて催します。(詳細は後日HPに掲載致します。)



〈初代下山会長と桜をバックに〉

新会員紹介

原 健三郎 (Kenzaburo Hara) 横浜市戸塚区在住 2016年11月入会

過去40年間従事しました海外営業業務において、日本からの出張の際、又欧州駐在時にスペインを二十数回訪れる機会があり、都度その歴史・文化に興味を抱いていました。又、9月30日に「戸塚お結び広場打ち合わせ」にて家内が貴会の方とご一緒し、活動のお話を聞きました。今後協会における活動に参加させて頂きたく入会の申し込みを致しました。

相原 憲一 (Ken-ichi Aihara) 横浜市港北区在住 2017年1月入会

情熱のスペインを意識するようになったのは多分大航海時代に関心を持った40年ぐらい前だと思います。幾何学模様や色彩豊かなデザインの工芸品、古城、音楽（ファリャ、ロドリゴなど）、そして当然の食文化、などでした。その後、一念発起してスペイン語を1年間学びましたが全く忘却の彼方となりました。今回、生涯現役生活の一環として10月から入門コースで発声練習からの基礎を学び直し、脳のトレーニングをしています。出来れば美術や工芸を通して文化交流を図りたいです。

山田 早百合 (Sayuri Yamada) 横浜市戸塚区在住 2017年1月入会

旅の大好きな私は現在「旅の会」でとても楽しく勉強させていただいています。その中でも草の根レベルの国際交流などもうかがわれ感心しました。横浜スペイン協会は活発な活動をしていらっしゃるようですが私もぜひ入会して草の根レベルの文化交流のお役に立ちたいと考えています。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	東京都品川区上大崎2-16-3	03-5420-5328	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・ターズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記> むかーし、スペイン風邪といわれたインフルエンザが大流行しました。1918年の事だそうです。毎年の事ですが『インフルエンザが流行！』とTVなどで騒がれているので、今年は予防接種受けました。注射の跡が赤く腫れて痒いよお…（編集長 A.S）

編集長 / 下山綾子

編集委員 / 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 福長昭代

* 投稿寄稿宛先
横浜スペイン協会

E-mail : info@yokohama-spain.jp
ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp/>

今回の原稿締切は
3月15日(水)です